

子供の心接団

奈良教弘NEWS

株式会社奈良教弘
奈良市二条大路南
1-2-11

ひろがる金融教育

奈良県立ろう学校で金融教育

2023年12月19日(火)、奈良県立ろう学校にてファイナンシャル・ウェルネス・カレッジ・エッセンシャル(以下FWCE)として生徒に向けた金融教育出前授業を行った。

今回は計16名の高等部の生徒が受講。午前の2コマの授業時間にて第一部「お金についての知識」「生活設計・キャリア形成」、第二部「消費生活・金融トラブル防止」の内容で実施。

第一部はシブラルタ生命保険株式会社奈良第一営業所長の中山拓也(なかやま たくや)氏が担当し、お金に関する基礎知識からお金の活用方法について講演、第二部は特別講師として弁護士倉橋毅至(くらはし たけし)氏に担当いただき、金融トラブルの実態を語っていただいた。

講演にあたっては講師スピーチの際、隣で手話解説を同時進行。連携の難しさはあったものの、事前打ち合わせの甲斐あり、スムーズに開催できた。

なお、FWCE実施にあたり、参加生徒から受講前と受講後にアンケートを学校側で実施。受講前は大半の生徒が資産運用などに不安を感じていたが、受講後は学びにより自信がついた旨の声が多くあった。また、講演自体への感謝の言葉が多くあった。



熱心に講義を受ける生徒と講師の中山所長

新人紹介

シブラルタ生命
学校担当LC



名前: 高橋 博昭
(タカハシ ヒロアキ)

経歴: 御所中・御所工業・専修大学
を経て現職
(シブラー部に所属) 一般企業を
担当校: あやめ池小・富雄北小・緑ヶ丘中

〈担当校のみならず〉

シブラーで培った粘り、ネットワークの軽さを武器に、有益な情報を常時ご提供させていただきます。一生懸命頑張りますのでよろしく願います。

喜びの受賞

令和五年度PTA活動振興功労者表彰

檀原営業所 前川 真吾LC

文部科学省では、PTA創立75周年に当たり、PTAの健全な育成と発展に資することを目的として、毎年度、優秀な実績を上げているPTAの表彰を行い、5年ごとにPTA活動の振興に顕著な功績のある個人を表彰している。今回、シブラルタ生命奈良支社檀原営業所のLC(ライブラン)コンサルタント)前川真吾さんが令和5年11月24日(金)、ホテルニューオータニ(東京)で開催された公益財団法人日本PTA全国協議会創立75周年記念式典で表彰された。

前川LCは、奈良県PTA協議会副会長及び理事として、県内PTA活動に多大な貢献を果たすとともに、檀原市PTA連合会会長として、奈良県PTA協議会と市PTA連合会とのパイプ役となり、檀原市PTA連合会の発展に寄与した。とりわけ、県内PTA関係者との連携強化に貢献するとともに、指導的役割を果たしたことが評価され表彰に至った。(村田貴)



表彰状を手にする前川LCと亀田檀原市長

お詫びと訂正

教弘ニュース第2号「ボランティア・スピリット・アワード」の記事と教弘ニュース第3号「シニアセミナー案内」におきまして誤りと追加がありました。

(誤) smile chage → (正) smile charge
(追加)
中学生・コミュニティ賞(2万円)

育英西中学校 伝統工芸を日常の中に

(誤) 3月20日(土) → (正) 3月20日(水)
「迷惑をお掛けしました」をお詫びするごまじり、訂正と追加をいたします。

星空教室

11月21日(火)、檀原市立今井小学校の4年生60人を対象に、「星空教室」を実施した。星のおじさんがスライドや地球儀などを用いて、月の見え方や月面の様子、地球と月の公転の様子などを説明した。その後、運動場で月齢8の月の観望を行った。子どもたちはメモを取ったり、質問をしたり熱心に参加していた。また、初めて望遠鏡で見る月に感嘆の声を上げていた。

12月13日(水)、宇陀市立菟田野小学校の4年生27人を対象に、星空教室を実施。晴天に恵まれ、ふたご座流星群を見ることができ、土星と木星の観望もできた。子どもたちだけではなく、先生方にも大層喜んでいただいた。(九鬼立明)



今井小学校



菟田野小学校

編集後記

今では二月三日に定着している節分ですが、本来は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことを「節分」とよんでいました。節分は、「季節を分ける」ということです。四つの季節のなかで春の訪れである立春が一年の始まりでもあったので「立春」が最も重視されており、立春の前日だけ節分と呼ぶようになったという説があります。

みなさん、節分で豆まきは行われましたか。豆まきの時、どのような掛け声をかけていますか。「福は内、鬼は外」ですね。ところが奈良県吉野町にある金峯山寺蔵王堂では、「福は内、鬼も内」という掛け声がかかられます。これは、全国から「鬼は外」と豆をまかれ逃げ出した鬼が蔵王堂に集められ、経典の功德や法力で信徒らがまく豆によって荒れ狂う鬼を鎮め、鬼と楽しく過ごすことのできる節分式が行われます。このことから、「間違っただけを排除するのではなく、教育の力で間違いに気づかせ、改心させみんな楽しく生活する。」大切なことですね。(村田貴)

